

2025 年 6 月 10 日

就職活動中にもっと知りたかった会社の情報は、「具体的な仕事内容」が 42.8%と最多 ～2025 年度新入社員意識調査～

本調査は、新入社員の意識を把握するため、当研究所が開催した県内企業を対象とした新入社員研修に参加いただいた皆様約 600 名を対象に実施した。

調査結果のポイント

1. 長野県内に就職した理由

- ・ 「住環境として長野県が良い」が 61.3%と最も多く、次いで「長野県の方が安心して生活ができそう」が 60.2%と 6 割を超えた。

2. 今の会社を選んだ理由

- ・ 「仕事に魅力がある」が 52.0%と前回（2024 年 4 月）調査同様最も多く、次いで「地元企業で通勤が便利」が 45.1%、「会社の雰囲気が合う」が 45.0%などとなった。

3. 先輩・上司に求めること

- ・ 「いつでも相談できる雰囲気がある」が 75.1%と最も多く、それに次ぐ「積極的にコミュニケーションをとってくれる」は 58.3%と、前回調査に比べ 6.8 ポイント上昇した。

4. 仕事をしていく上で大切にしたいこと

- ・ 「やりがい・充実感を得る」が 51.3%と最も多く、「楽しく仕事をする」が 49.8%などとなった。

5. 就職活動中にもっと知りたかった会社の情報

- ・ 「具体的な仕事の内容」が 42.8%と最も多く、次いで「会社の雰囲気」が 38.1%などとなった。

6. 今の会社でいつまで働きたいか

- ・ いつまで働くか「分からない」が 49.8%と、前回調査同様ほぼ半数を占めた。

- 新入社員が就職活動中にもっと知りたかった会社の情報は、「具体的な仕事内容」「会社の雰囲気」「福利厚生・ワークライフバランスの実態」などがおよそ 4 割となり、入社後に何らかのギャップを感じていることが推察される結果となった。いつまで働くか「分からない」がほぼ半数となる中、新入社員の定着のためには、彼らが抱える不安や入社後に感じたギャップを解消していくことが求められる。そのためには、会社がそれぞれの価値観を理解し、彼らの思いに寄り添った対応をしていくことが重要だ。

＜お問い合わせ先＞

一般財団法人 長野経済研究所 電話：026-224-0501

担当：調査部 主任研究員 須田 浩路

「新入社員意識調査」アンケート実施概要

調査時期： 2025 年 4 月 1 日～ 4 月 10 日

調査対象： 当研究所主催「新入社員研修」参加者

回答属性： 638 名

調査方法： 無記名アンケート方式（新入社員研修の会場で調査票を配布し回収）

回答者の構成は以下のとおり

		人数	構成比(%)
合計		638	100.0
性別	男	388	60.8
	女	245	38.4
	無回答	5	0.8
従業員数	300人以下	447	70.1
	300人超	140	21.9
	分からない	51	8.0
業種	建設業	79	12.4
	製造業	284	44.5
	卸小売業	43	6.7
	サービス業	212	33.2
	その他	13	2.0
	無回答	7	1.1

※ 四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

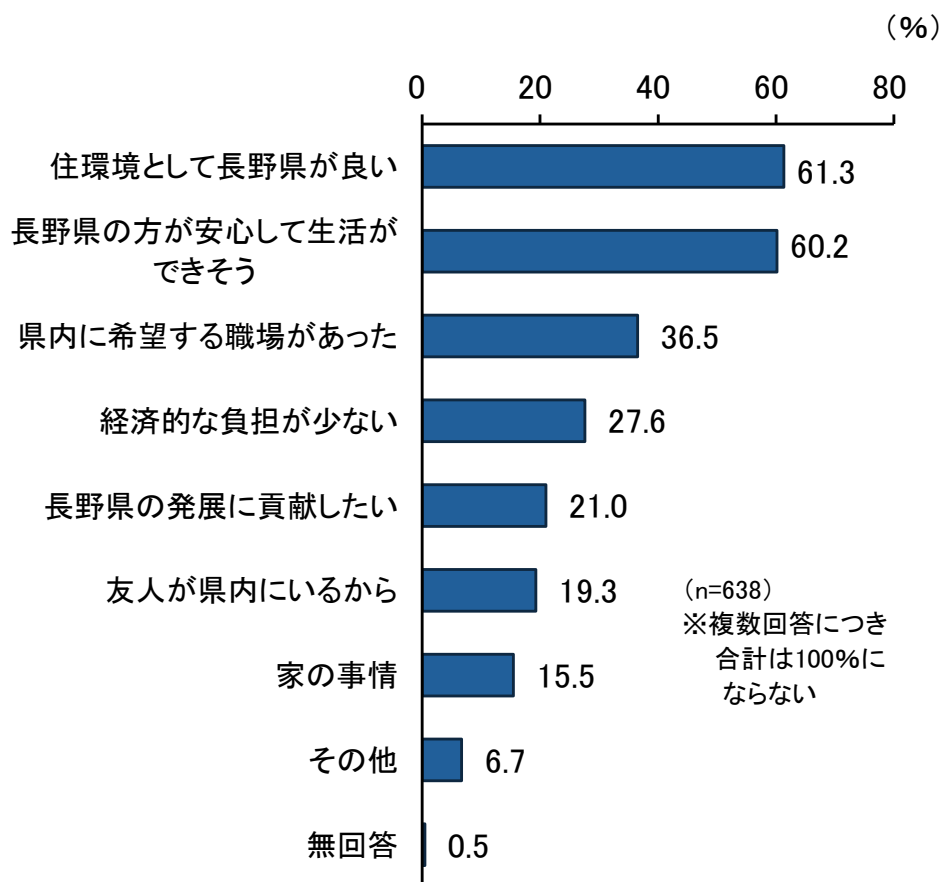
詳細は、当研究所機関誌「経済月報 6 月号」のトピックスをご覧ください。

1. 長野県内に就職した理由

◆「住環境が良い」「安心して生活できそう」が共に6割

- 長野県内に就職した理由について尋ねると、図表1のように、「住環境として長野県が良い」が61.3%、次いで「長野県の方が安心して生活ができそう」が60.2%、「県内に希望する職場があった」が36.5%などとなり、長野県の「住環境」や「生活面での安心」といった点に魅力を感じている割合が多くなった。

図表1 長野県に就職した理由（3つまで選択）

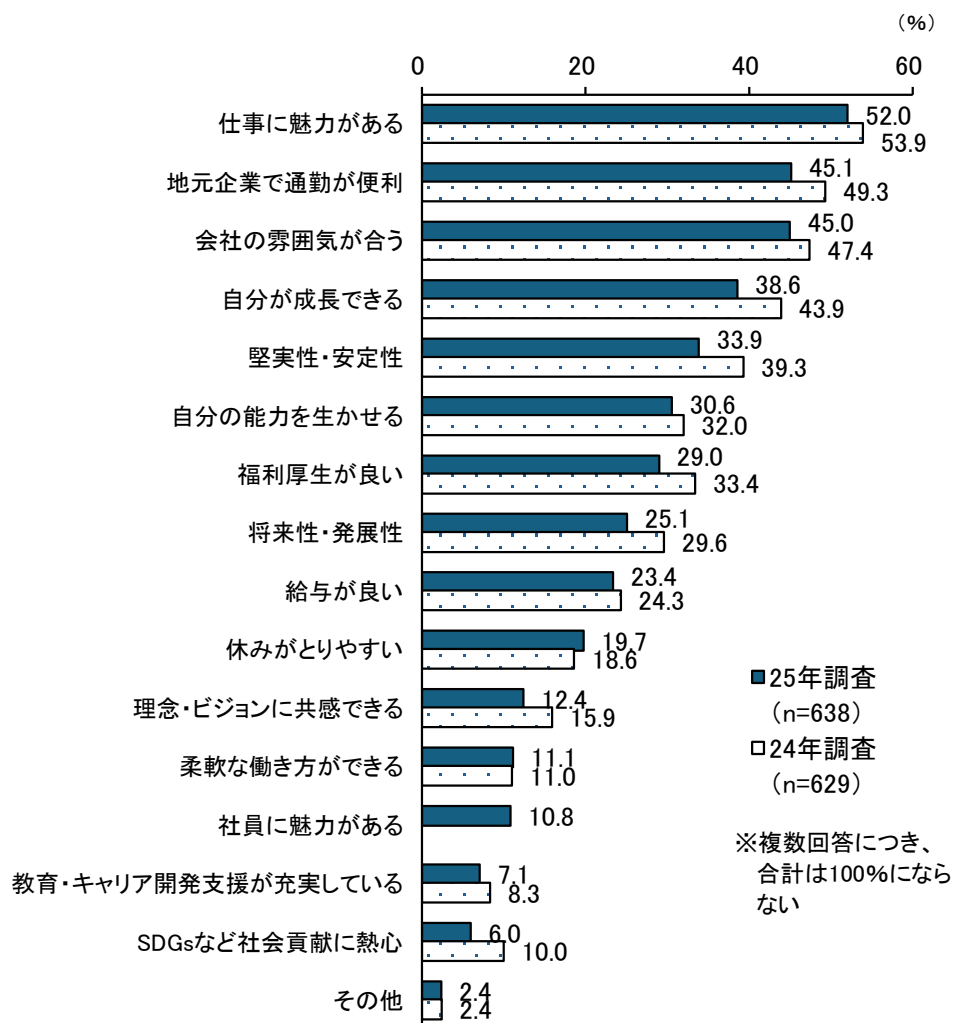


2. 今の会社を選んだ理由

◆ 前回（2024 年 4 月）調査同様「仕事の魅力」が最多

- ・ 会社を選んだ理由について尋ねると、図表 2 のように、「仕事に魅力がある」が 52.0%、次いで「地元企業で通勤が便利※」が 45.1%、「会社の雰囲気が合う」が 45.0%などとなり、前回調査と比べて順位に大きな違いはみられなかった。
- ・ 一方、「教育・キャリア開発支援が充実している」は 7.1%、「SDGs など社会貢献に熱心」は 6.0%と低位にとどまった。就職先の選定に当たり、SDGs への取り組みや教育・キャリア開発支援に関する関心は低い結果となった。

図表 2 今の会社を選んだ理由（5 つまで選択）



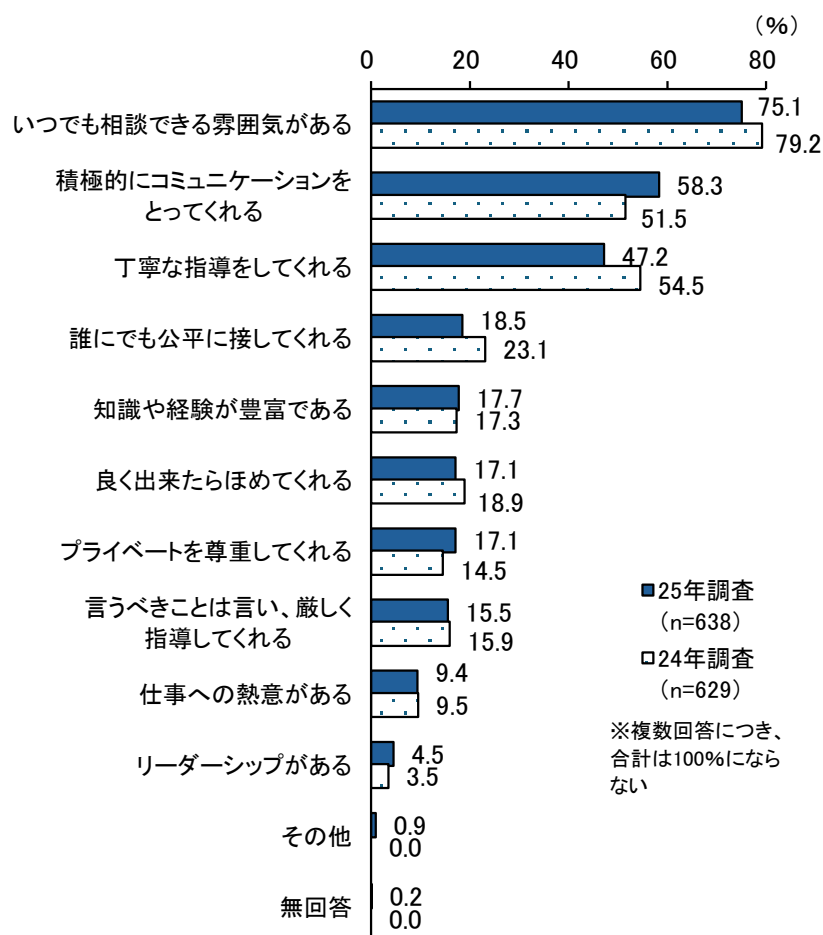
※ 当研究所が開催した新入社員研修への参加企業が、全て長野県に拠点のある企業であるため、県外企業への就職者を含めると結果が変わる可能性があることに注意を要する

3. 先輩・上司に求めること

◆「積極的なコミュニケーション」の割合が前回調査よりも上昇

- 先輩・上司に求めることについて尋ねたところ、図表3のように、「いつでも相談できる雰囲気がある」が75.1%、次いで「積極的にコミュニケーションをとってくれる」が58.3%、「丁寧な指導をしてくれる」が47.2%などとなった。一方、「仕事への熱意がある」や「リーダーシップがある」は低位にとどまった。
- 前回調査と比べると、「積極的にコミュニケーションをとってくれる」の割合が6.8ポイント上昇し、「丁寧な指導をしてくれる」を上回った。新入社員の多くが仕事や人間関係に不安を感じており、いつでも相談できる雰囲気や先輩・上司からの積極的な声掛けを望んでいる。

図表3 先輩・上司に求めること（3つまで選択）

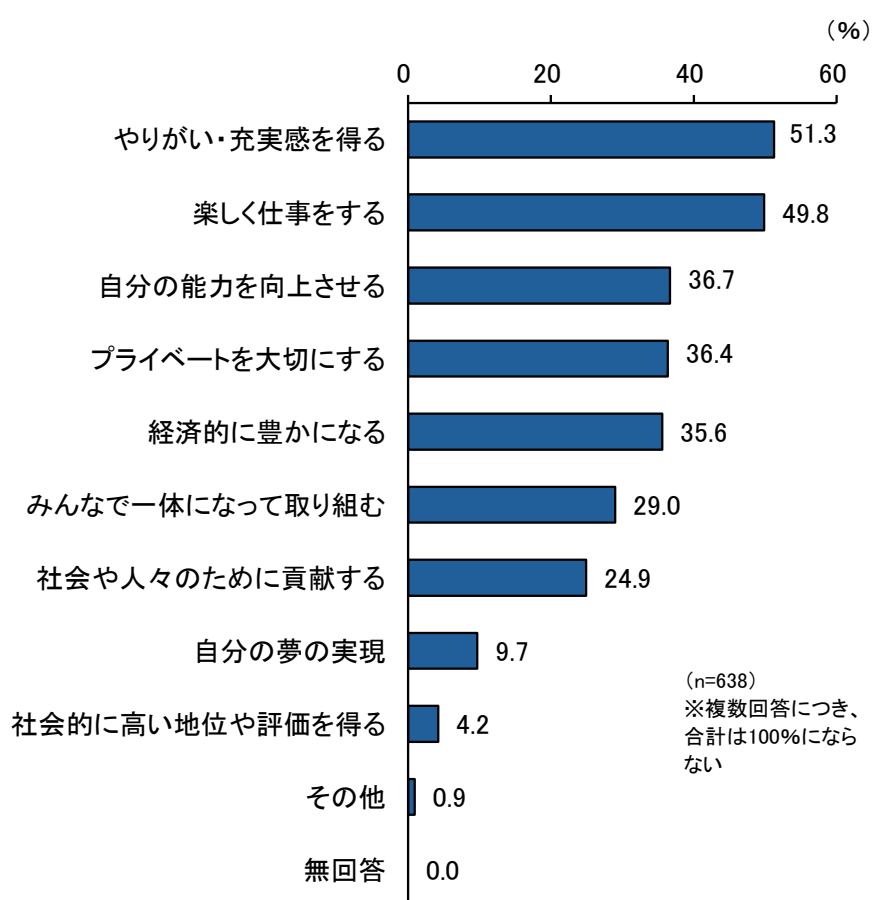


4. 仕事をしていく上で大切にしたいこと

◆ 「やりがい・充実感」や「楽しさ」がほぼ上位

- ・ 仕事をしていく上で大切にしたいことについて尋ねると、図表4のように、「やりがい・充実感を得る」が51.3%と最も多く、次いで「楽しく仕事をする」が49.8%などとなった。
- ・ 「やりがい・充実感」に加えて、「楽しさ」を重視している一方、「みんなで一体になって取り組む」や「社会や人々のために貢献する」は2割台にとどまった。一体感や社会貢献よりも、個人の意欲や気持ちを大切にしている。

図表4 仕事をしていく上で大切にしたいこと（3つまで選択）

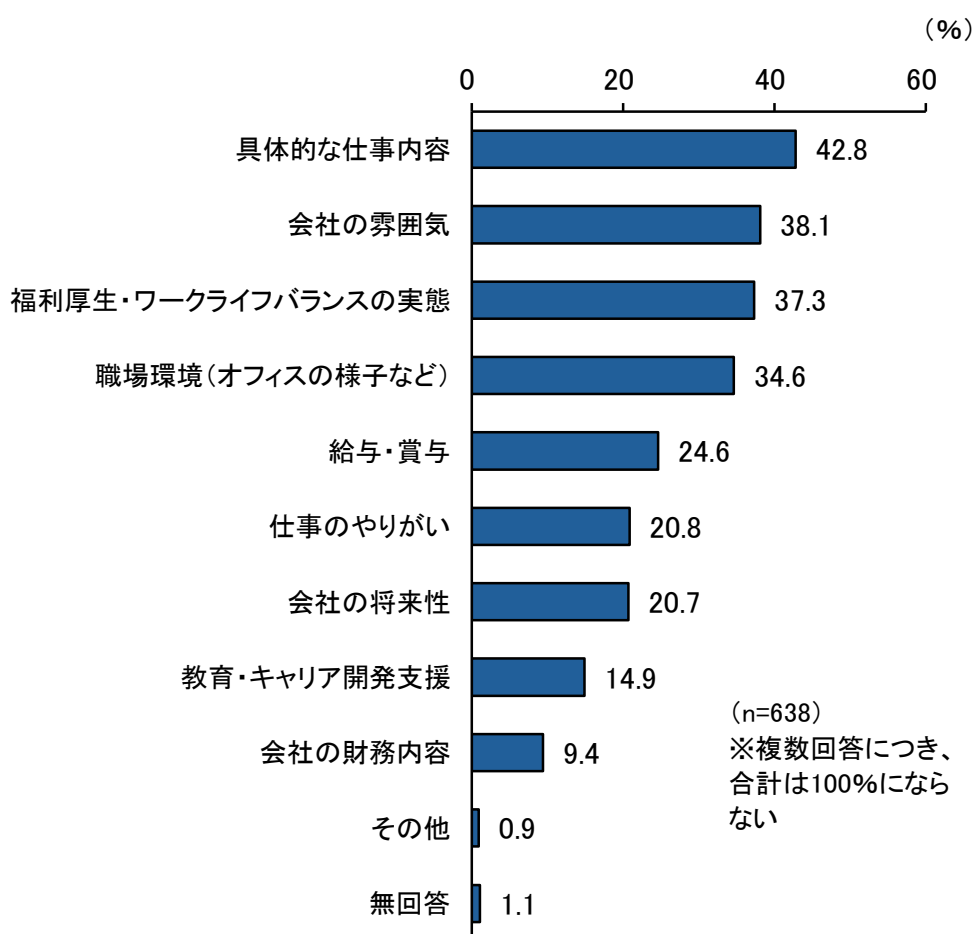


5. 就職活動中にもっと知りたかった会社の情報

◆ 「具体的な仕事の内容」が最多

- ・ 就職活動中にもっと知りたかった会社の情報について尋ねると、図表5のとおり、「具体的な仕事内容」が42.8%、次いで「会社の雰囲気」が38.1%、「福利厚生・ワークライフバランスの実態」が37.3%、「職場環境（オフィスの様子など）」が34.6%などとなった。その一方で、「給与・賞与」は2割程度にとどまった。
- ・ 仕事の内容や会社の雰囲気等について、入社後に何らかのギャップを感じていることが推察される結果となった。

図表5 就職活動中にもっと知りたかった会社の情報（3つまで選択）

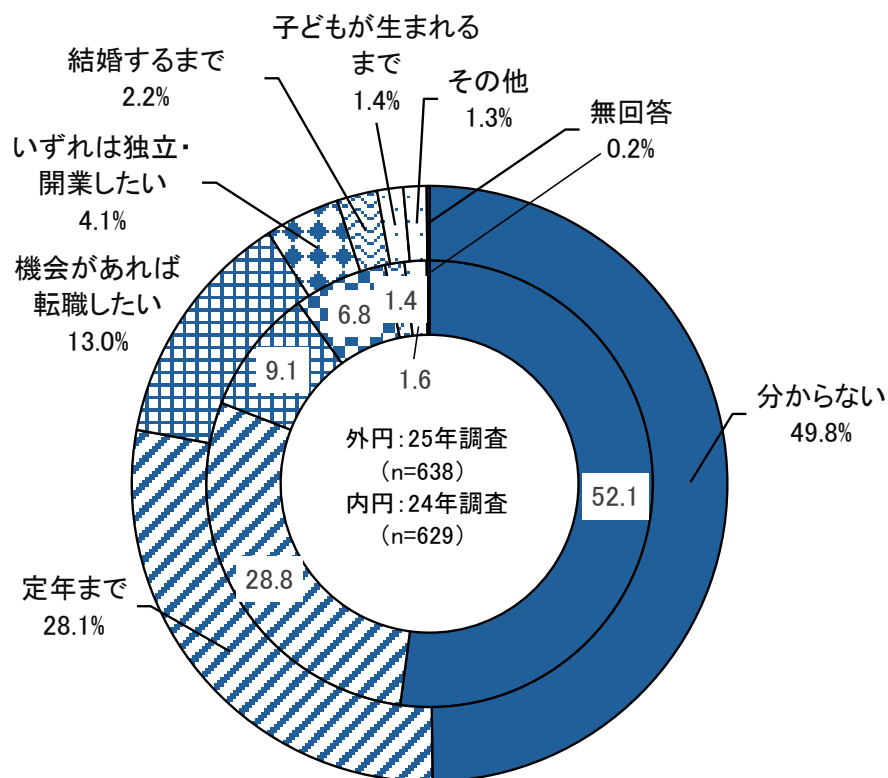


6. 今の会社でいつまで働きたいか

◆ いつまで働きたいか「分からない」がほぼ半数

- 今の会社でいつまで働きたいか尋ねると、図表6のように、「分からない」が49.8%と最も多く、次いで「定年まで」が28.1%、「機会があれば転職したい」が13.0%、「いずれは独立・開業したい」が4.1%などとなった。
- 前回調査同様、「分からない」の回答割合がほぼ半数を占めたほか、定年まで働きたい割合は、前回調査に比べて0.7ポイント低下した。

図表6 今の会社でいつまで働きたいか



以上